

Mizuho Daily Market Report

2024/6/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.14	156.08	▲1.23	▲0.80
EUR	1.0842	1.0904	+0.0056	+0.0045
AUD	0.6635	0.6689	+0.0036	+0.0035
SGD	1.3518	1.3459	▲0.0053	▲0.0035
CNY	7.2463	7.2420	+0.0002	▲0.0025
MYR	4.7062	4.7065	+0.0000	+0.0100
THB	36.90	36.79	+0.00	+0.16
IDR	16218	16230	▲20	+165
PHP	58.68	58.69	+0.16	+0.57
INR	83.15	83.15	▲0.32	+0.01
VND	25411	25439	▲11	▲14

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.388%	▲11.0 bp	▲7.7 bp
日本(10年)	1.069%	▲0.1 bp	+4.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.580%	▲8.4 bp	+3.3 bp
オーストラリア(5年)	4.068%	▲3.0 bp	+7.7 bp
シンガポール(5年)	3.290%	▲4.8 bp	+1.0 bp
中国(5年)	2.068%	▲1.3 bp	▲2.8 bp
マレーシア(5年)	3.695%	+0.0 bp	▲0.5 bp
タイ(5年)	2.506%	+0.0 bp	+0.1 bp
インドネシア(5年)	6.862%	▲2.4 bp	▲3.1 bp
フィリピン(5年)	6.408%	▲2.6 bp	▲4.1 bp
インド(5年)	7.028%	▲2.2 bp	▲0.9 bp
ベトナム(5年)	2.170%	▲1.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,571.03	▲0.3%	▲1.3%
N225(日本)	38,923.03	+1.1%	+0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	5,003.54	+0.4%	▲1.1%
ASX(オーストラリア)	4,517.03	▲0.0%	▲0.5%
FTSTI(シンガポール)	3,348.87	+0.4%	+0.9%
SSEC(中国)	3,078.49	▲0.3%	▲1.5%
SENSEX(インド)	76,468.78	+3.4%	+1.4%
JKSE(インドネシア)	7,036.19	+0.9%	▲2.0%
KLSE(マレーシア)	1,596.68	+0.0%	▲1.3%
PSE(フィリピン)	6,470.74	+0.6%	▲1.5%
SETI(タイ)	1,345.66	+0.0%	▲1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,280.00	+1.4%	+1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	289.09	▲0.4%	▲1.8%
金	2,350.75	+1.0%	▲0.0%
原油(WTI)	74.22	▲3.6%	#VALUE!
銅	10,016.96	+1.0%	▲1.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	158.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2680
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16300
USD/PHP	56.70	—	58.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台前半で取引を開始。先週末からのドル安の流れもあってか序盤は下押し圧力が強く、157円近辺まで下落。ただ株高を背景にクロス円を持ち直すドル円も上昇に転じ、一時157円台半ばまで値を上げる。その後は材料難の中、157円台前半で方向感を欠き、海外時間に渡った。アジア通貨は総じて堅調。先週末からのドル安の流れを受けアジア通貨は対ドルで堅調に推移した。インドネシアの5月CPIが発表され、市場予想を下回る結果となったが反応は限定的となった。

欧州時間のドル円は米金利低下の流れを受けたドル安が優勢となり156円台後半まで下落し米州時間へ。米州朝時方は米5月製造業PMIが予想を上回ったものの、続いて発表の米5月ISM製造業景況指数が48.7と2か月連続で景気の分岐と言われる50を下回り、構成指数の新規受注が大幅に低下したことや、支払価格も低下したことからドル売りが強まり2週間ぶりに156円を割り込み、155円台後半まで下落する。その後は低下していた米金利が下げ止まる中、156円台前半まで戻すが、終盤に掛けて再び金利が低下する中、ドル円も上値を重くし156円近辺でクローズした。

【金利】

米金利市場は軟調な米指標結果を受け平行に低下。朝方に発表されたISM製造業景況指数が市場予想を下回ったことを受け、米利下げ期待が高まり金利低下。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日海外時間に発表された米経済指標が市場予想を下回る結果となったことで、先週金曜日からのドル売りの流れに拍車がかかりやすい状況。しかしながら、週後半には米雇用統計の発表も控える中、積極的に下値を探る展開とはならず、ドル売り一巡後はポジション調整の動きもできるものと予想され下値は限定的。

【本日の予定】

(日本) 5月 マネーベース
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 1Q 豪 企業営業利益
(アジア) 1Q 豪 国際収支・経常収支 / 企業営業利益
(アジア) 5月 NZ コロニック住宅価格
(アジア) 5月 タイ PM製造業
(アジア) 5月 マレーシア PM製造業
(アジア) 5月 豪 PMサービス業(確)
(アジア) 5月 韓国 CPI
(欧州) 5月 スイス CPI
(欧州) 5月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(欧州) 5月 英 BRC既存店売上高
(欧州) 独 国債入札(2Y)
(米国) 4月 JOLT求人
(米国) 4月 製造業受注 / 耐久財受注(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。